

令和5年教育委員会第8回定例会会議録

開会日時 令和5年8月4日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 11時21分

場 所 701・702 会議室

出席委員 教育長 小花 高子
同職務代理者 壺内 明
委員 谷部 憲子
委員 日高 芳一
委員 上原 有美江
委員 青柳 豊

議場出席委員

・教育次長	中島 俊一	・学校教育担当部長	佐々木健二郎
・教育総務課長	山崎 淳	・学校施設担当課長	小野村守宏
・学校環境整備担当課長	尾崎 隆夫	・学務課長	羽田 顕
・指導室長	谷合みやこ	・学校教育推進担当課長	江川 泰輔
・学校教育支援担当課長	大川 千章	・統括指導主事	木村 文彦
・統括指導主事	青木 大輔	・地域教育課長	高橋 裕之
・放課後支援課長	石川まどか	・生涯学習課長	柏原 正彦
・生涯スポーツ課長	柿澤 幹夫	・中央図書館長	新井 秀成

書 記

・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花 高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花 高子 委員 壺内 明 委員 谷部 憲子
以上の委員3名を指定する。

開会時刻 10時00分

○教育長 おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和5年教育委員会第8回定例会を開会いたします。

本日の会議録の署名は私に加え、壺内委員と谷部委員にお願いをいたします。

まず本日の28名の傍聴の申出がございました。葛飾区教育委員会傍聴規則第4条第1項本文の規定により、傍聴人の定員は10名となっておりますが、同項ただし書の規定によりあらかじめ定員を30名に変更しておりますので、全員の傍聴を許可したいと思います。

それでは傍聴人にお入りいただくようお願いいたします。

(傍聴人 入場)

○教育長 教育長から傍聴人に申し上げます。傍聴人は配付しております注意事項を必ず守ってください。これらの規則等に反する行為があった場合は退席していただくこととなりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、議事に入ります。本日は議案等が1件でございます。

議案第45号「令和6年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」を上程いたします。

指導室長。

○指導室長 それでは私から議案第45号「令和6年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」ご説明申し上げます。

提案理由といたしましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定に基づきまして、令和6年度使用の義務教育諸学校の教科用図書を採択する必要がありますので、本案を提出するものでございます。

今年度は令和6年度より使用いたします、小学校教科用図書についての採択の年に当たります。葛飾区小学校教科用図書検討委員会の調査報告書等を参考にご審議いただき、採択の決定をお願いいたします。

○教育長 議案第45号「令和6年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」の審議に入ります。

7月10日に葛飾区小学校教科用図書検討委員会から、令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告書が、教育委員会に提出されました。これらのものを踏まえまして、本日の教育委員会では国の検定を受けた教科用図書の中から本区で使用する教科用図書を採択していくこととなります。

それでは、まず私から全体に関することについて述べさせていただきます。

前回、令和元年度の教科書採択は学習指導要領が改訂されて最初の教科書採択でございましたが、学習指導要領改訂のポイントといたしましては、児童が、何ができるようになるのか、

育てたい資質・能力を明確にし、どのように学ぶか、「主体的・対話的で深い学び」といった学習方法の改善が重要であることが示されました。

引き続き、こうしたポイントを踏まえながら、それぞれの教科で活動を通して学ぶという観点を大切に、その教科の見方、考え方を育てていくことが重要でございます。

これらの点を重視しながら、葛飾の子どもたちにふさわしい教科書を選定してまいりたいと思います。

初めに検討委員会で話題となりました内容と一般展示の状況について、事務局より報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 検討委員会は、調査委員会からの調査研究の報告を受け、さらに教科用図書の内容について検討する組織でございます。調査委員会は小学校の校長、副校長等のうちから、教育委員会が任命する委員で構成しております。

委員会では、教科用図書の内容について研究するとともに、各校からのご意見などの報告内容を検討した上で、検討委員会に報告しております。

調査委員会の報告を受けて、開催された検討委員会では、今日的な教育課題の取り上げ方、教科書の扱い等について、委員それぞれの立場から熱心な検討が行われました。

結果につきましては、報告書として既にご覧いただいております。

一般展示につきましては、総合教育センター、カナマチぷらっと、新小岩地区センターの3カ所で、区民の皆様を対象に6月2日から7月5日まで教科書展示を行いました。各展示会場におきましては、アンケートをご提出いただいた人数は112名の閲覧者中、39名となっております。

以上でございます。

○教育長 それではただ今の報告につきましても加味いたしまして、委員のご意見を伺いながら採択する教科書を決定してまいりたいと思います。

国語から審議をしてまいります。国語につきましては、現在、東京書籍を採択しておりますが、前回の教科書採択での採択理由について、まず指導室長から説明をしてください。

○指導室長 現在使用しております東京書籍の採択理由でございますが、まず語彙力を高めるために語彙に関する「ことばあつめ」という項目を設定し、言葉の特徴や使い方について理解を深められるようにしていること。「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の3ステップで構成されていることで学習の流れが分かりやすくなっていること。また単元の導入に「言葉の力」として、学びのポイントを提示することで、「葛飾スタンダード」で示されております「めあて」を意識して学習できるようになっていること。このような理由でございました。

以上でございます。

○**教育長** それでは、ここから委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

壺内委員、お願いいたします。

○**壺内委員** これからはますます語彙力を高めていくことが極めて大切と考えています。東京書籍は、国語の土台となる言葉や語彙、文法を学べる「言葉相談室」というページがあります。教育出版は、言葉への気付きを促す「言葉」というページや、注目させたい文型を「大事な言い方」というページが掲載されており、光村図書は語彙指導に生かせる「言葉の宝箱」というページがあります。光村図書は「伝え合うための言葉」というページを新たに設け、語彙指導の充実を図っていることが分かります。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

日高委員。

○**日高委員** 私は学習過程の視点から申し上げたいと思います。葛飾区は葛飾スタンダードに取り組んで10年目を迎えました。そういう長き10年ということで、各学校全てが定着しているようであります。そういう中で「めあて・ねらい」を意識して学習を進める。このことはとても大事だと思います。どの教科書でも「めあて・ねらい」を持って学習を進め、「ふり返り」ができる流れになっております。素晴らしいことだと思います。

また、国語の学習で身につける力を東京書籍では「言葉の力」、教育出版では「ここが大事」、光村図書では「たいせつ」というページで示しているのが特色のように感じます。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

青柳委員。

○**青柳委員** 私は子どもたちにとって、身近なテーマ、身近な話題が教材になっていることも大切であると思っております。例えば、葛飾区では全ての6年生がかつしかシンフォニーヒルズで行われます狂言教室に参加しております。東京書籍と光村図書は6年生の教科書で狂言を取り上げています。また教育出版は2年生の教科書で「かつしか郷土かるた」を取り上げて、2枚の絵札を紹介しています。このように生徒にとって身近な葛飾のことが掲載されている教科書がとても印象に残りました。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

上原委員、お願いいたします。

○**上原委員** 私は二次元コードに注目させていただきました。今、子どもたち一人一人にタブレット端末が配られ、その活用も非常に大切であると思っております。

東京書籍は物語の教材に作者の紹介動画があることが特徴で、学習に必要な資料が二次元コードからも確認できます。また光村図書は、作者からのメッセージの動画や古典の音声につながる二次元コードが掲載されております。この2社は、タブレット端末の活用が図られている

のではないかとおられました。

○**教育長** ありがとうございます。ここまでのご意見では、東京書籍と光村図書のご意見が多いようでございますけれども、ほかにご意見ございますでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 私は学びやすさについて考えたときに、子どもたちにとっても先生にとっても使いやすい教科書がよいのではと考えました。学びやすさ、教えやすさに着目いたしました。それぞれの教科書の巻頭にどんなことを学んでいくのかを示すページがありますが、特に光村図書は「国語の学びをみわたそう」というページが8ページあり、3社の中では一番丁寧に取り扱っていると感じました。

○**教育長** 私からも少し申し上げたいと思います。学習指導要領では主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性がうたわれております。子どもたちの学びが主体的になるためには、子ども自身が問いを持つということが大変重要であろうと考えております。

光村図書につきましては、単元の始めに「問いかけ」というのがございまして、また自ら問いを持ち、学びを進められるよう「問いをもとう」という項目が新たに設けられております。主体的学びに向かいやすいのではないかと感じたところでございます。

これまでの委員の皆様方のご意見総合いたしますと、光村図書のご意見が多いようでございますけれども、国語につきましては光村図書を採択することといたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、国語につきましては、光村図書を採択することといたします。

続きまして、書写について審議をいたします。書写につきましては、現在、光村図書を採択しております。前回の教科書採択での採択理由を指導室長から説明をしてください。

○**指導室長** 申し上げます。毛筆の基本といたしまして、用具の準備、用具の片付けが見開き2ページで分かりやすく説明されております。そして、学習の始めに「めあて」が示されており、そして文字を比較してどのように書いたらよいかを考えながら学習を進めることができるような構成になっていること。また、書写の学び方や書き方のコツが分かりやすく示されるとともに、学習する文字の横に二次元コードがございまして、動画を見ることができるようになっていること。これらの理由を採択理由としておりました。

以上でございます。

○**教育長** それでは委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

日高委員。

○**日高委員** 葛飾スタンダードに沿った授業展開は大変大事だと思っております。その中で、「めあて・ねらい」をしっかり持って学習を進め、「ふり返り」ができる流れに全てがなっ

おります。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

上原委員、お願いいたします。

○上原委員 光村図書は「ねらい」を示しているすぐ近くに「ふり返り」があります。非常に分かりやすいと思いました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員、お願いいたします。

○壺内委員 水書用紙につきましては、前回から適切に運筆する能力を高めることが強く求められており、そのため低学年では水書用紙を使って学習することになります。3社とも水書用紙が巻末につけられているのが特徴でございます。低学年の水書用紙に筆の持ち方を示しているのは、教育出版と光村図書であります。また右手で書く人、左手で書く人という動画が見られるように配慮しているのは光村図書であります。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 右利きや左利きの子どもがいるので、そのような配慮は非常に必要だと思っております。昔は、全てを右に変えさせるような、そういったこともありましたけれども、私も実は右手が不自由なものですから、全部左手で字を書きます。その字を書くときに、右手だったら左から右に線を引けばいいのですけれども、左手で左から右に引くのは非常に大変なのです。そういったことが、動画で見られて、右利きの場合はどうなのか、左利きの場合はどうなのかというのが、目で見られるというのは非常にいいことではないかと実感いたしました。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 低学年では硬筆を学習し、3年生から毛筆を学習いたしますが、毛筆をスタートするに当たって、光村図書では毛筆のスタートブックが11ページありまして、毛筆を始めるに当たっての準備が丁寧に説明されていて、子どもたちが分かりやすいのではないかと感想を持ちました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 私は二次元コードに注目させていただきました。3社とも毛筆をしている動画が見られるように、二次元コードが用意されているのが、よかったと思っております。その中でも光村図書は上からの動画だけではなくて、斜めの角度から毛筆の使い方が見られるようになっていたのが、工夫してあると感じました。

○教育長 私からも、少し申し上げたいと思います。光村図書の6年生の教科書の終わりに、

「私の文字」というページがございました。書く人によって異なる味わいがあるということが、伝えられておりまして、私といたしましては、個人を大切に作る視点があるように感じ、このページはとてもよいと感じたところでございます。

これまでの委員の皆様からのご意見からいたしますと、光村図書を支持されるご意見が多いかと思いますが、書写につきましては、引き続き光村図書ということによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○**教育長** それでは、書写につきましては光村図書といたしたいと思います。

次に、社会にまいます。社会、現在は教育出版を採択しております。前回の教科書採択での理由を説明してください。

○**指導室長** それでは、前回、教育出版の採択理由についてご説明申し上げます。

学習指導要領で示されました6学年の内容が、政治・歴史・国際の順で学習できるように1冊で構成されているという点。また、児童が自分の言葉で学習のまとめができるような構成になっているとともに、「次につなげよう」という項目がございまして、主体的に取り組むことができる工夫があるという点。そして、小合溜をつくった井沢弥惣兵衛や水元国民学校、柴又の町並みなど葛飾区に関わる資料が多く掲載されている点、このような採択理由でございました。

以上でございます。

○**教育長** それでは、委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

壺内委員、お願いいたします。

○**壺内委員** 問題解決的な学習につきましては、東京書籍、教育出版、日本文教出版とも教科書の巻頭で社会科の学習の進め方を示しており、45分間の授業が1見開き、2ページで構成されています。東京書籍、教育出版、日本文教出版ともに毎時間の「めあて」を左ページに示し、課題意識を持って学習に取り組むことができるようになっております。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** どの教科書もそうなのですが、いろいろなイラストを使っただいて、分かりやすく示していると思います。ただ、東京書籍のドラえもののイラストですか、社会的な見方、考え方についてそれを使っているというのは、親しみやすさというか、そういったものを感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

谷部委員、お願いいたします。

○**谷部委員** 教育出版は、学習過程をインデックスで示したり、右ページに次の時間につながる問いを掲載したりするなど、見通しを持って学ぶことができると感じました。

日本文教出版は、マークやロゴなどが豊富に使われているのですが、どこに着目していいのか分かりにくいのではないかという気がいたしました。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

青柳委員、お願いいたします。

○**青柳委員** 私はSDGsについて着目させていただきました。東京書籍、教育出版では巻末で取り上げているのに対して、日本文教出版は単元の中でSDGsを取り上げられておりました。また各社ともSDGsと学習内容を関連付けているのが特徴的だと感じました。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

日高委員、お願いいたします。

○**日高委員** 教育出版そして日本文教出版、この2社については各学年、1冊ずつが配本されておりました。東京書籍は5年・6年生ともに分冊になっております。6年生では、政治・歴史・国際の順で学習をしております。政治・国際編と歴史編の教科書は分かれているため、歴史の学習が終わった後また政治・国際編の教科書に戻るの、学習のつながりが分かりにくいのではないかと考えられます。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

上原委員、お願いいたします。

○**上原委員** 私は葛飾区の事例について取り上げているところについて、いいなと思ったところがありました。教育出版は6年生において、葛飾区の事例が二つ扱われております。「政治のはたらき」において、歴史と文化の町並みの保存の事例として葛飾柴又の文化的景観が掲載されております。また戦争の学習では、東京で最初の空襲被害として水元国民学校の児童が亡くなったこと、弾痕が区内の博物館に保存されていることが記載されております。ウクライナとロシアとの戦争とか、そういうことが身近になって、今、そういう現在でございますが、そういうことを考えますと、子どもたちには平和の尊さとか大切さを実感してほしいと思っております。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。

日高委員、お願いいたします。

○**日高委員** 教育出版ですけれども、戦中から戦後の写真をカラー化しております。カラー化することによって現実味を帯びたものになっており、児童の関心、そして意欲が高まるのではないかと考えられます。

○**教育長** ありがとうございます。委員の皆様のご意見を伺いいたしますと、教育出版を支持されるご意見が多いかと思えます。社会につきましても、引き続き教育出版を採択するというところでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、社会につきましては、教育出版を採択することといたします。

続きまして、地図にまいります。地図につきましては、現在、帝国書院を採択しております。前回の教科書採択での理由を指導室長から説明をしてください。

○指導室長 それでは、前回の教科書採択の理由について申し上げます。

クイズ形式での表記や地図帳に直接書き込む部分があるなど、47 都道府県の名義や位置などが覚えやすく工夫されているという点。また、災害や防災に関する資料が掲載されているページが具体的で見やすいということ。そして、首都東京の地図のページにおきまして、葛飾区が分かりやすく表記されており、東京都の中の葛飾区的位置について理解しやすくなっていること。このような採択理由でございました。

以上でございます。

○教育長 それでは委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 東京書籍は地図のきまりや地図帳の使い方を漫画仕立ての構成にしておりますので、楽しみながら地図の基本を身につけていくことができるのではと感じました。

帝国書院は、地図のやくそく、地図帳の使い方をスモールステップで丁寧に解説しており、特に3年生向けのページが充実していると感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 英語教育との関連で見させていただいたのですが、どちらの地図帳も主要な国名と首都名などに英語の標記が付記しておりました。また外国語活動や外国語の学習をしたときでも活用できるのではないかと思います。葛飾区が力を入れている英語教育の充実とともに、この地図帳も使えるのではないかと感じております。

○教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

日高委員、お願いいたします。

○日高委員 内容の充実の視点から申し上げたいと思います。帝国書院は、ページ数が東京書籍よりも30ページほど多くなっています。このことによって内容が充実しているように思えます。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 私も内容の充実ということなのですが、帝国書院は大阪や東京などの大都市の拡大の地図が充実してまして、またSDGsに関連する資料の取扱いもあって、分かりやすいと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員、お願いいたします。

○壺内委員 葛飾区の取扱いにつきましては、東京書籍の索引には葛飾区が見当たりませんが、帝国書院の索引には葛飾区が掲載されております。また、帝国書院の東京都の地図には柴又帝釈天のイラストも載っていることから、子どもたちにとって大変親しみやすいのではないかと考えています。

○教育長 委員の皆様のご意見を総合いたしますと、帝国書院を支持されるご意見が多数であろうかと思いますが、地図につきましては帝国書院を採択することでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは地図につきましては、帝国書院とすることといたしたいと思います。

次に算数にまいります。算数につきましては、現在、東京書籍を採択しております。前回の教科書採択での理由を指導室長から説明をしてください。

○指導室長 前回の採択理由でございますが、まず単元の始めの既習事項の振り返りや、学習の定着を図るための振り返りのページが大変充実しているという点。そして、1年生の別冊がA判となっております、教科書の上でブロック操作ができる仕様が掲載され、数の合成など基礎・基本において丁寧に扱うための工夫があるという点。そして、葛飾スタンダードにございます「めあて」や「まとめ」が明確に示されているとともに、授業の流れも示されておりますので、子どもたちにとって分かりやすく、教員にとっても指導しやすい点、このような採択理由でございました。

以上でございます。

○教育長 それでは、各委員のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 6社とも「めあて」「ねらい」などの言葉は異なりますが、葛飾教師のスタンダードに沿った授業の流れとなっていると思いました。教科書を読めば授業が分かるという面では、どこの会社も甲乙つけがたいと感じております。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 自学自習の面で見ますと、単元末の振り返り問題で6社とも学習したページがございます、振り返りができるので、つまづいたときに自分で確認することができる点が良いと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 算数・数学は系統性がとても大切な課目であります。小学校だけではなく、中学校への接続が重要だと認識しております。児童が中学校へ進学して見方、考え方のアプローチ

や使い方が大きく変わることがないようにしてあげたいと思っております。

○**教育長** 系統性のお話でしたが、ほかにご意見いかがでしょうか。

日高委員。

○**日高委員** 低学年あるいは中学校とのつながりという視点から申し上げたいと思います。目次で既習内容が書かれておりまして、系統性が見て分かるようになっております。また、東京書籍、大日本図書、学校図書は6年生の教科書に中学校の単元が書かれており、算数と数学の系統性が分かるように工夫されております。

○**教育長** ほかにご意見はいかがでしょうか。

青柳委員。

○**青柳委員** 私はまた教科書の見やすさという点で見てみたのですけれども。見方や考え方などを児童に気付かせることは大切だと思うのですけれども、キャラクターの吹き出しやマークで誘導し過ぎてしまうと、児童自身の気付きが減ってしまうのではないかとということが気になりました。

○**教育長** ほかにご意見はいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 先ほども申し上げましたが、6社とも教科書を読めば授業が分かる内容であるという部分は、甲乙つけがたいと思いますが、見やすさで考えますと啓林館がページ内に使用しているマークなどが少なく、すっきりしているという印象を受けました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 東京書籍や大日本図書、それから啓林館の3社には、仕事に算数がどのように役立つかというところが掲載されております。このことは非常に大切なことだと思っております。特に啓林館は、6年生の最後の時期に4名の方々から仕事に算数が役立つことを紹介しておりまして、今までの学びとこれからの学びが将来につながることを知る構成になっております。私も実は社会に出て、海外の方たちの給料計算をするときに、連立方程式を使ったのです。連立方程式はこんなところで使えるのだと思ったのは非常にうれしかった。小学校、中学校で習ったことが社会に活かされるのだと思うのは、すごく学びの点ではよかったのではないかと思っております。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

壺内委員、お願いいたします。

○**壺内委員** 見やすさにつきまして、算数用語に対する説明が東京書籍は文字にマーカーを重ねるなどして協調して書かれておりまして、教え漏れや見落としが起きにくいと感じています。

○**教育長** これまでの委員の皆様のご意見を伺いますと、東京書籍と啓林館というご意見が多

いように感じます。いかがでしょうか、ほかにご意見はございますでしょうか。

日高委員。

○日高委員 教員の教えやすさ、これは大事だろうと思います。そういう視点で考えますと、東京書籍は1単位時間当たりの目安というものが、しっかりマークがありまして、そして授業計画を立てるときに教員が詰め込み過ぎないようになっております。欠席したときの子どもためにも、児童がおおよその学習の進路が分かるため教科書を読み、自習することも可能であると考えられます。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

東京書籍、啓林館というご意見の中で、総合いたしますと東京書籍のご意見が多いかと思えます。算数につきましては、引き続き東京書籍を採択するというのでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 よろしいでしょうか。それでは、算数につきましては東京書籍といたします。

次に理科にまいります。理科につきましては、現在、大日本図書を採択しております。前回の教科書採択での理由を説明してください。

○指導室長 それでは、前回の採択理由についてご説明いたします。

まず問題解決の過程における児童の見通しを重視し、児童に予想させる時間を設定しているという点。またイラスト等の会話や吹き出しが児童の発達段階に適した表現となっております。問題解決の過程で児童が主体的に話し合い、考えが高め合えるようになっているという点。そして葛飾スタンダードにおける児童の主体的な活動と関連し、問題から結論までの学習の流れが明確に示されている点。これらのことが採択理由となっておりました。

以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 どの教科書も写真などの資料が充実していると感じました。中でも東京書籍と大日本図書は掲載されている写真が大きく分かりやすいのではと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 私は学習過程の視点から申し上げたいと思います。理科の学習でも見方、考え方はとても大切で、学校図書においては「理科モンスター」として見方、考え方が示されております。また教育出版には吹き出しの中に「見方のカギ・考え方のカギ」という形で示されております。啓林館では、吹き出しに緑色のマーカーを引いて、見方、考え方が示されております。

○教育長 学習過程につきまして、私も少し感じたところを申し上げたいと思います。問題解決の過程における児童の見通しというのは非常に重要と考えておりまして、この問題解決の学

習課程が、比較的是っきりと分かりやすいのはどの単元でも同じように色分けをして示している大日本図書ではないかと、私は感じたところでございます。

ほかにはいかがでございましょうか。

上原委員。

○上原委員 資料の内容、資料の数とかそういったところから考えさせていただきますと、教育出版の5年生は川と災害ということで、葛飾区の教材が掲載されており、身近な教材という意味ではとてもよいのではないかと思います。教育出版は前の学年で学習したことをまとめたページや、裏表紙の理科の安全の手引きなどがあり、非常に資料が充実していると実感いたしました。

○教育長 私もこの資料の充実という観点でも見てみたところでございますけれども、多様な資料があるということは、学習の選択肢を増やすことにつながるのではないかと感じました。多様な資料が掲載されているのは、大日本図書と教育出版であると私も見たところでございます。

ほかにはいかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 私も大日本図書、学校図書の2冊に掲載されている科学者についての記事というものが、児童にとって科学に対する意欲を高めるために効果的ではあるのではないかと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 私は二次元コードを比べてみたのですが、大日本図書の二次元コードには全て内容が分かるように記載されていたので、子どもたちが使いやすいのではと感じました。

○教育長 ありがとうございます。もう1点、私から単元構成について感じたところを申し上げます。理科の学習で台風の学習があるわけでございますけれども、昨今の気象の状況を考えますと台風については秋というよりも少し早い時期に日本に到達するというような今の状況かと思っております。単元構成を見せていただきますと、大日本図書と学校図書、啓林館につきましては、7月に台風の学習ができるように設定をされておりました。他の出版社は秋というようなことでございましたので、その点で言えば、大日本図書、学校図書、啓林館がよろしいのかと感じたところでございます。

ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 情報量に関しましては、この大日本図書は教科書のサイズが大きく、1ページ当たりの情報量も多過ぎず、児童の視点から情報量が適切であると考えます。

○**教育長** それぞれの教科書のよいところのご意見がいろいろ出ていて、なかなか甲乙付けがたいところであろうと思いますけれども、今の委員の皆様方のご意見を総合いたしますと、大日本図書を支持されるご意見が多かったかと感じておりますが、理科につきましては引き続き大日本図書を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは理科につきましては、大日本図書といたします。

続きまして生活でございます。生活につきましては、現在、東京書籍を採択しておりますけれども、前回の教科書採択の理由を説明してください。

○**指導室長** それでは前回の採択理由についてでございます。

まず中学年以降の学習のつながりの観点から、社会及び自然と直接関わる活動や体験、身近な人々のことをバランスよく学習ができる構成になっていること。そして、「できるようになったことをふりかえろう」では、イラストによって自分の生活や成長を振り返り、児童の思いや考えを自由に表現できるように工夫されているという点。そして、実物の大きさに近い動植物のイラストの資料が掲載されておまして、児童の興味・関心を広げる工夫があるという点。このような採択理由でございました。

以上でございます。

○**教育長** 生活につきましては、本当にどの教科書も写真が大きく掲載されていて、子どもたちにとってはとてもいいと私も感じながら見せていただいたところでございますけれども、各委員の皆様のご意見はいかがでございましょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** ページの構成が分かりやすいのは、東京書籍と光村図書と思いました。光村図書はどの時間も振り返りをする構成になっているので、そちらが分かりやすいかと感じました。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○**上原委員** 大日本図書の気持ちのマークは1、2年生にとって非常に分かりやすいのではないかと思います。また東京書籍はページ数の表記が大きくて、統一されていてとても見やすいのではないかと思います。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 資料の使いやすさの観点から見ますと、どの教科書も巻末資料が大変充実しています。東京書籍の巻末資料は、使いやすく、上巻末の「いきものずかん」が実物の大きさに示されており、光村図書の巻末資料は、紙が厚く、しっかりしています。しかし、切り取りや別冊になっているので、紛失するおそれがあると心配しているところでございます。

○**教育長** ほかにご意見はございますでしょうか。

青柳委員。

○**青柳委員** 私は二次元コードにつきまして見てみました。東京書籍、教育出版、学校図書、啓林館が使いやすいと感じました。その中でも、東京書籍と教育出版と啓林館は、二次元コードにタイトルがついていてよりよいと感じました。また、学校図書には二次元コードの一覧がついております。啓林館は、「デジタルたんけんブック」が掲載されていて分かりやすいと感じました。

○**教育長** 資料の観点でのご意見でございましたが、そのほかにいかがでしょうか。

日高委員。

○**日高委員** 東京書籍と啓林館には、上巻巻頭にスタートカリキュラムがはっきり示されております。またサイズの違うページがつけられているので、就学前の経験を振り返る学習や幼稚園、保育園から小学校へのつながりを確認する学習では、東京書籍と啓林館の2社であると思えます。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○**谷部委員** 生活の学習では、子どもの気付きを大切にしていると考えます。四季の学習では、四季の変化に気づくために定点観測の視点で比較する学習展開はとても有効であるのではないのでしょうか。東京書籍は子どもがたくさんの気付きを得るために、校庭、公園の2カ所で四季の特徴を比べる資料を示していて、子どもたちが実際に校庭に出て四季の変化を調べる際に、とても参考になるのではないかと感じました。

○**教育長** ありがとうございます。委員の皆様のご意見を総合してみますと、東京書籍についてご支持のご意見が多かったかと思えますけれども、生活につきましては、引き続き東京書籍ということはいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** ありがとうございます。それでは、生活につきましては東京書籍といたします。

続きまして、音楽でございます。音楽につきまして、現在は教育出版を採択しております。前回の教科書採択での理由を説明してください。

○**指導室長** それでは、前回の採択理由でございます。

まず学習の流れを示したり、対話や気付きを深めたりする学習のヒントが適度な分量で示されるということ。歌詞のイメージや表現につながる大きな写真の掲載など資料の工夫もあること。そして、葛西囃子といった子どもたちにとって身近な葛飾区の音楽を扱っているということ。これらの理由が採択理由でございました。

以上でございます。

○教育長 それでは委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 教育出版では葛西囃子を、教育芸術社では神田囃子を地域教材として取り扱っておりました。葛飾区の子どもたちにとって、より身近な葛飾区の無形文化財を取り扱っているのは、教育出版であります。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 内容の専門性の観点から、内容の専門性が高く、音楽専科向きであるのは教育芸術社であります。イラストや写真を効果的に使い、内容が分かりやすく取扱いがしやすい、音楽の専門性がそれほど高くない学級担任でも使用できるのは、教育出版であります。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 私は、国歌の取扱いについて申し上げたいと思います。教育出版では、歌詞の語句が写真つきで、しかも説明がしっかりされているなど解説がしっかりしており、国歌を大切にしていこうという気持ちを育てることができると思います。

○教育長 ほかにいかがですか。

上原委員。

○上原委員 私は季節の歌についてというところを見させていただきましたけれども、茶摘みの写真が色鮮やかなのは教育出版だったと思います。歌詞のとおり一番茶であるということが色合いから分かると思いました。

○教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 私も写真の掲載のことになりますが、教育出版は桜の写真がとても大きく、曲想のイメージが沸きやすいのではと感じました。

○教育長 ありがとうございます。私からも1点、申し上げたいと思います。「さんぽ」ですとか「音楽のおくりもの」といった全校合唱用の教材というものが教育出版では全学年に掲載されておりまして、ここの部分はとてもよいかと感じたところでございます。

これまでの委員の皆様のご意見を伺いますと、教育出版とのご意見が多いようでございますけれども、音楽につきましては、教育出版ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、音楽につきましては教育出版といたします。

続きまして、図画工作でございます。図画工作につきまして、現在は開隆堂を採択しております。前回の教科書採択での理由を説明してください。

○指導室長 前回の採択理由でございます。

まず製作過程の写真を多く掲載しておりまして、発想のヒントとなる場面を掲載されていること。そして、二次元コードがあり、彫刻刀の使い方や絵の具の使い方などの動画資料を見ることができ、児童にとって分かりやすいという点。そして葛飾スタンダードの観点から申しますと、「めあて」と振り返りがはっきりとしており、重点的な「めあて」については、赤字で示されていて、振り返りも重点的な「めあて」に合わせたものになっているという点。これらのことが採択理由でございました。

以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 開隆堂、日本文教出版ともに材料や用具について安全で適切な扱いができるように、基本的な使い方やポイントを分かりやすくイラストや写真とともに示しているのがよいと感じました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員、お願いします。

○壺内委員 興味関心を高める工夫の視点から、開隆堂、日本文教出版ともに作品の写真が多く掲載され、児童の興味関心や意欲を高める工夫がなされております。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 同じく興味関心を高める工夫としまして、開隆堂は表紙に「心をひらいて」や「つながる思い」などとタイトルを付けられておりまして、児童の興味関心を高めていく工夫がしっかりなされていると感じました。

○教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 葛飾スタンダードの観点から言いますと、開隆堂、日本文教出版とも「めあて」と振り返りを明確に明記しております。

○教育長 ほかに他の観点からのご意見などございますでしょうか。

日高委員。

○日高委員 開隆堂もそうでありまして、日本文教出版もそうですが、ともに二次元コードが掲載されております。作品の写真や動画資料を見ることは十分にできるようになっております。

○教育長 二次元コードについてのご意見でございましたが、その他何かございますでしょうか。

上原委員、お願いいたします。

○上原委員 二次元コードが大きく表示され掲載されているコンテンツの内容が示されており、見やすいのは開隆堂ではないかと思いましたが。開隆堂のほうがちょっと大きいのです。そういう意味で、児童には分かりやすいのではないかと思いましたが。

○教育長 ありがとうございます。開隆堂、日本文教出版とも大変、甲乙付けがたいというようなご意見が多いところではございますけれども。私も少し申し上げさせていただきますと、開隆堂のほうが「めあて」の中で、特に大切な「めあて」というところにつきましては、色を変え、下線を引いて示されておりました。このところは非常に児童にとって分かりやすい表現が工夫されているのではないかと考えております。

2社とも本当に甲乙付けがたいという状況ではございますけれども、委員の皆様のご意見を総合いたしますと、引き続き開隆堂というご意見になろうかと思っておりますけれども。いかがでしょうか、開隆堂でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、図画工作につきましては、開隆堂といたします。

続きまして、家庭科でございます。家庭科につきましては、現在、東京書籍を採択しております。前回の教科書採択の理由を説明してください。

○指導室長 前回の採択理由でございます。

まずA4判で紙面にゆとりがございますして、写真などのレイアウトが全体的に見やすくなっているということ。また裁縫に多くの時間を取っておりますが、この裁縫の部分のスモールステップで大変丁寧に指導しているということ。そして、洗濯の取扱表示に関しまして、新旧の表示が描かれており、品質や環境についてのマークが多く表示してあること。これらのことが採択理由でございました。

以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

壺内委員、お願いいたします。

○壺内委員 家庭科では、児童が自らの日常生活を見直して、課題を設定し、問題解決的な学習を進められるものがよいと考えています。専科教員ではなく、担任が指導する学校も多いので、児童と教員、どちらにとっても使いやすいものがよいと考えています。開隆堂、東京書籍のどちらの教科書も学習の流れが示されておまして、区立学校で取り組んでいる葛飾スタンダードにも合致していると考えております。

内容につきましては、開隆堂、東京書籍ともどちらもよくできた教科書であると感じております。

○教育長 そのほかいかがでございましょうか。

日高委員。

○日高委員 私は、レイアウトについての視点から申し上げたいと思います。児童の主体的な学習につながる使いやすい教科書であるということは、とても大事な観点であり、重要であると思います。東京書籍のレイアウトのほうが、児童にとって見やすく使いやすいと考えることができます。

○教育長 ありがとうございます。そのほかいかがでございましょうか。

上原委員、お願いいたします。

○上原委員 私は、使いやすさというところの観点から見させていただきました。区の方性としまして、一つには多様性の尊重というのがあると思います。学校には多様な子どもがおります。先ほども言いましたけれども、左利きの子どもも多くおります。実技のある教科では、左利きの子どもへの配慮が非常に求められているように思います。開隆堂、東京書籍どちらのもの教科書も右利き、左利きの写真が掲載されておりますが、二次元コードから見ますと、左利きの動画は東京書籍のほうが本数が多いと実感いたしました。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 子どもたちが裁縫や調理といった実技を行う際は、動画を視聴することが子どもたちにとって有効であると考えます。開隆堂、東京書籍どちらの教科書も左右の利き手に応じた動画が用意されておりますが、裁縫の単元の動画では、東京書籍には左利き児童用の動画が適切に用意されておまして、子どもたちにとって、また指導する教員にとっても伝えやすいと感じました。

○教育長 左利き児童への配慮のご意見でございましたけれども。その他何かございますか。

青柳委員、お願いいたします。

○青柳委員 私も使いやすさというところで、二次元コードを見てみました。二次元コードから見られる動画の数に関しましては、開隆堂のほうが多いものもございましたが、選ぶものが多いことによって、選ぶ時間や探す時間がかかることもございます。二次元コードから必要な動画、見たい動画にすぐつながるといえるものは、東京書籍のほうがより多くございまして、児童にとって使いやすいのではないかと感じました。

○教育長 ありがとうございます。委員の皆様のご意見を総合いたしますと、東京書籍というご意見が多かったかと思えます。家庭科につきましては、東京書籍ということではいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、家庭科につきましては、東京書籍といたします。

次に、保健でございます。保健につきましては、現在、学研教育みらいを採択しております。前回の教科書採択理由を説明してください。

○指導室長 前回の採択理由でございます。

まず生活習慣病、喫煙の害、がん教育等についての資料が充実しているということ。また二次元コードがありまして、けがの手当てや喫煙防止等の動画が充実しているという点。そして、葛飾スタンダードに示されている学習の流れを実現できるような内容になってございまして、「めあて」「まとめ」が分かりやすく示されているということ。これらの採択理由でございます。

以上でございます。

○教育長 それでは委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。

上原委員。

○上原委員 私は、性の個人差についてというところを見させていただきました。どの教科書も性の個人差について明記され、多様性の尊重について掲載されております。また、児童が不安や悩みを相談できる窓口、電話番号とか、そういったものもしっかりと掲載されているのがよいと思いました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 教科書の構成の観点から、どの教科書も資料が充実していますが、児童が学んだことを教科書に直接記入し、ノートとして活用したり、児童が記入したことを教員が評価に結びつけたりすることができる構成になっているのは、東京書籍とG a k k e nであります。このような構成のほうが、使いやすいのではないかと考えております。

○教育長 その他、いかがでございますか。

日高委員。

○日高委員 葛飾スタンダードについての視点から考えますと、「めあて」「まとめ」が分かりやすく示され、葛飾スタンダードで示している学習の流れを実現でき、学習した内容を深めることができるようになっているのが東京書籍とG a k k e nであると言えます。

○教育長 葛飾スタンダードの関係につきましては、私も少し申し上げたいと思います。G a k k e nにつきましては、単元の最後のところに「ふり返る・伝える・つなぐ」のページが設けられておりました。また自己評価を行えるチェック欄もございまして、学習した内容を振り返ることができるようになっていたというのが、G a k k e nの特徴ではないかと感じたところでございます。

そのほかには、いかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 私は性差について。どの教科書も体の発育、発達の男女の体つきの違いについて写真やイラストで分かりやすく表示されてございました。

○教育長 谷部委員、お願いいたします。

○谷部委員 私も性差について、どの教科書も思春期に起こる体の変化について示しておりますが、G a k k e nは男女のイラストをシルエットで示しておりましたので、児童の発達段階に配慮したつくりになっていると感じました。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

東京書籍、G a k k e nというようなご意見でございましたけれども、その中でもG a k k e nをとというご意見が多いかと思いますが、保健につきましては、引き続きG a k k e nということはいかがでしょうか。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、保健につきましては、G a k k e nといたします。

次に、英語でございます。英語につきましては、現在は東京書籍を採択しております。前回の教科書採択での理由を説明してください。

○指導室長 前回の採択理由でございます。

まず単元や構成の内容におきまして、文部科学省が作成した教材「We Can!」との関連が多く見られまして、教員がこれまでと同様の流れで授業を展開しやすいということ。また各単元が音声や映像による場面設定から始まるなど、導入の工夫がございまして、歌・チャンツの両方を全ての単元で取り扱っているということ。そして、外国の様子や日本の紹介を多く使い、外国語の背景にある文化への理解を深めることを重視していること。これらのことが採択理由でございました。

以上でございます。

○教育長 それでは委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。

上原委員。

○上原委員 私はページの数字の取扱いについて見させていただきました。小学校の英語の段階では数字を英語で覚える、読める、書けるというのはとても大切だと思います。例えば 45 ページというのもフォーティファイブとか、その横に書いてあるとか、そういったのは非常に分かりやすいと思っております。各ページを数字だけでなく、英語でも書いてあると、数字で覚えるのは非常に有効だと思います。東京書籍と開隆堂と教育出版、啓林館の4社はそのように書いてありましたが、ほかのところはただ数字だけでした。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 単語集なのですけれども、単語集が別冊のものと一体型のものがありまして、別冊のほうが必要なときに手元に置いて使えるため、使いやすいと思います。別冊になっているのは、東京書籍、開隆堂、三省堂の3社でした。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 二次元コードにつきまして述べさせていただきますと、二次元コードによって各教科書ともデジタルコンテンツを掲載しているのですけれども、自学自習での活用の観点からも、見たいコンテンツをすぐ開けられるというのは大切であると感じております。単語集の各項目に二次元コードがございますけれども、知りたい単語の発音をダイレクトに調べることができたのは、東京書籍と開隆堂でございました。

○教育長 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 自分の考えを表現するということは大変大事なことです。その表現する型よりも、会話を中心とした対話をする型というのを中心の構成となっているのは、東京書籍、開隆堂であると言えると思います。

○教育長 これまで複数の観点からご意見が出されておりますけれども、ここまでのところ、東京書籍と開隆堂というご意見が多いかと思えます。この点につきまして、さらにご意見を頂きたいと思えます。いかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 書く力を育成する上で、教科書内に書き込みができるように工夫されている教科書が望ましいと思えます。教科書に書き込む量が多く、レイアウトにもゆとりがあり、見やすく使いやすいのは、東京書籍であると考えています。

○教育長 私も、内容について少し申し上げたいと思えます。指導内容が多過ぎるということも、なかなか内容の定着につながらない場合もあろうかと思っております。今回の教科書見せていただきますと、内容が比較的厳選されているのは東京書籍であろうと感じたところでございます。

ここまでの委員の皆様からのご意見を総合いたしますと、東京書籍を支持されるご意見が多いかと思えますけれども、英語につきましては、引き続き東京書籍ということでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、英語につきましては、東京書籍とさせていただきます。

次に道徳でございます。道徳は、現在、東京書籍を採択しております。前回の教科書採択での理由を説明してください。

○指導室長 前回の採択理由でございます。

まず主題や「ねらい」が分かりやすく示されておまして、葛飾スタンダードに沿った授業が展開しやすいということ。教材の次第や本文の配置が見やすく、学習者である児童を意識し

た読みやすい構成になっているということ。そして、いじめ防止の指導について、扱う場所が分かりやすく示されておりまして、児童も意識できるようになっていること。これらのことが採択理由でございました。

以上でございます。

○教育長 それでは、委員の皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。いかがでしょうか。

青柳委員。

○青柳委員 いじめ防止の取扱いにつきまして述べさせていただきますと、どの会社もいじめについて考えさせられる教材が用意されてございました。東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、光文書院は目次の中でどの教材がいじめに関する内容を取り扱っているのかが、明記されてございまして、分かりやすくなっております。ただ、G a k k e nは目次の中でいじめという言葉の明記がされてございませんでした。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 私は二次元コードについて見させていただきました。どの会社も全学年を通して朗読や写真、動画など二次元コードが用意されておりまして、授業の導入や展開で活用できるようになっております。非常によいと思いました。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 東京書籍そして教育出版、光村図書、日本文教出版、光文書院では自分で考える活動からその考えを広げ、深めることができるような構成にまとめられているように思います。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 東京書籍と光村図書は、子どもたちが自己の生き方について意欲的に考えることができるように、特にダイナミックな写真や美しい挿絵を随所に掲載していると感じました。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 多面的、多角的な考えの観点から見ると、東京書籍は自分の考えと友達の考えを比べるための「心のメーター」が巻末に用意されています。児童の多角的、多面的な考えを可視化できる工夫をしていて、授業で教科書を使っている先生方からも好評を得ているところです。

○教育長 私も東京書籍の「心のメーター」を授業で使っているところを何回か見ておりまして、有効に使われていると感じているところはございます。また、東京書籍につきましては、教材末のところに「考えよう」という項目がございまして、学習への投げかけが掲載されてい

て、児童の問題意識を喚起し主体的な学びができるように工夫がされていると感じているところでございます。

これまでの委員の皆様方の意見を総合いたしますと、引き続き東京書籍というご意見が多いかと思えますけれども、道徳につきましては、東京書籍を引き続き採択することで異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ありがとうございます。それでは、道徳につきましては、東京書籍とさせていただきます。

以上で、令和6年度の小学校教科用図書が採択されました。ここで、採択する発行者名を確認いたします。

指導室長から採択結果の確認をお願いします。

○指導室長 それでは、令和6年度小学校における採択された教科用図書の発行者を確認させていただきます。

まず国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会、教育出版。地図、帝国書院。算数、東京書籍。理科、大日本図書。生活、東京書籍。音楽、教育出版。図画工作、開隆堂出版。家庭、東京書籍。保健、G a k k e n。英語、東京書籍。道徳、東京書籍。

以上でございます。

○教育長 採択理由一覧表につきましては、これまでの審議を踏まえ、事務局において作成してください。

以上で、令和6年度使用小学校教科用図書の採択審議を終了いたします。

指導室長。

○指導室長 それでは続きまして、特別支援学級において使用いたします教科用図書の件でございます。

学校教育法附則第9条の規定によりまして、特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に規定する同一教科用図書を採択する期間、この期間4年間が除外されまして、毎年採択替えを行うことができますとなっております。

したがって、教育委員会は令和6年度に使用する特別支援学級の一般図書について採択替えを行うこととなります。

ご審議のほどお願いいたします。

○教育長 それでは、令和6年度使用特別支援学級教科用図書の採択の審議に入ります。

資料2「令和6年度使用教科用図書採択一覧表（小学校特別支援学級用）」及び資料3「令和6年度使用教科用図書採択一覧表（中学校特別学級用）」につきまして、ご意見はございま

すでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 学校教育法附則第9条の規定による教科用図書は、小学校及び中学校の特別支援学級設置校において、各学校が調査・研究をし、校長が責任をもって報告したものであると認識しております。児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容のものでありますので、これでよろしいと思います。

○**教育長** ほかにご意見はございますか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。「令和6年度使用教科用図書採択一覧表（小学校特別支援学級用）」及び「令和6年度使用教科用図書採択一覧表（中学校特別支援学級用）」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○**教育長** 異議なしとのことでありますので、この一覧表のとおり「令和6年度使用教科用図書採択一覧表（小学校特別支援学級用）」及び「令和6年度使用教科用図書採択一覧表（中学校特別支援学級用）」を採択することに決定いたしました。

指導室長。

○**指導室長** 続きまして、中学校において使用する教科用図書についてでございます。

令和6年度使用教科用図書中学校用の審議をお願いいたします。

中学校では令和2年度に採択をいたしておりますので、令和6年度は引き続き同一の教科用図書を使用することになっております。

ご審議のほどをお願いいたします。

○**教育長** 令和6年度使用教科用図書中学校用につきましては、令和2年度に採択が行われ、令和6年度使用につきましては、同一の教科書を採択することとなっております。

そこで、資料4「令和6年度使用教科用図書（検定教科書）採択一覧表（中学校用）」のとおり、採択することになりますが、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

日高委員。

○**日高委員** 中学校では、この一覧表の教科書を使って授業を行い、十分に活用されていると聞いております。したがって、引き続き一覧表にある教科用図書を採択することによろしいと考えます。

○**教育長** ほかにご意見はございますか。

それでは、お諮りいたします。資料4「令和6年度使用教科用図書（検定教科書）採択一覧表（中学校用）」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○**教育長** 異議なしと認め、この一覧表のとおり、令和6年度使用教科用図書（検定教科書）中学校用を採択することに決定いたしました。

以上で、令和6年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択につきましては、全ての審議が終了いたしました。

今回の議案に関わる審議につきましては、教科用図書の採択に関する検討委員会の報告書、議事概要などは公正確保の観点から東京都教育委員会に報告する8月31日まで時限秘としたいと思います。

ただし、採択結果につきましては、区民の関心も高いことから教育委員会終了後、ただちに公表したいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○**教育長** 異議なしとのことでございますので、事務局においてはよろしく申し上げます。

また、出席の皆様におかれましてもこの点をご承知おきいただき、ご配慮くださいますようお願いいたします。

指導室長。

○**指導室長** ただいま決定いただきましたことによりまして、まずは本日の採択結果につきましては、この結果を取りまとめて一覧表にしたものを即日公表させていただきます。

また、文書につきましては、東京都教育委員会の報告後、またその事務処理が終了いたしましたところで、9月1日以降、区政情報コーナーにおいて公表したいと考えております。

よろしくお願いいたします。

○**教育長** ただいま指導室長から本日の採択結果以外の文書の公表につきまして説明がございました。この取扱いでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○**教育長** 異議なしとのことでございますので、よろしく願いをいたします。

以上で本日の議案を全て終了となりますが、その他何かご意見、ご質問等はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして、令和5年教育委員会第8回定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 11時21分